

# 元祖 石川書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

モモコグ:カンパニーの本づくり  
のクラウドファンディングに  
参加しました。

第18話 R02.06.12(金)  
『それでも、毎日  
すてきな瞬間の連続。』

★今回、紹介する本は、『それでも、素敵な一日』（著/ク作家、訳/生田美保、出版/株式会社ワニブックス）。

韓国に住む女性イラストレーターのエッセイ。著者のク・キョンソンさんは、2歳のときに病気で聴覚を失い、得意な絵で他者とコミュニケーションをとってきました。

「ベニー」という大きな耳をもったうさぎのキャラを作り、たくさんのメッセージを届けてきたクさんでしたが、「網膜色素変性症」という視力をいずれ失う病気までも患ってしまいます。

それでも、絶望に負けず、光までも失う世界を生きる準備を進めるクさんの姿に胸をうたれます。「まだ私には温かい手が残っている」と、今をしっかりと生きようとするクさん。温かいイラストもとってもすてきです。



韓国ドラマの中で紹介されたキャラクターもたまにいます。

温かく前向きな  
メッセージのうしろに  
あるものを想像すると、  
ぐっと生きていきます。

『完璧じゃなくても  
いいんです。いびっ  
だていいんです。』  
(p.242)

『どうしてみんなと同じ  
ように生きようとして  
したんだらう。』  
(p.57)

あんなに温かい感じが、一人一人がうんたごよ。

そして、未来は過去を変えようとして、  
あんなに温かい感じが、一人一人がうんたごよ。

